

# すもと

第21号

平成23年10月15日

洲本市議会だより



実りの秋、収穫体験をする子どもたち（広石小学校）

目  
次

9月定例市議会の主な内容	.....	(2)
9月定例市議会議決結果	.....	(3)
そこが聞きたい 一般質問	.....	(4)～(7)
委員会報告	.....	(8)～(12)
所管事務調査報告	.....	(12)～(13)
討論、9月定例市議会の日程	.....	(13)
災害復興調査特別委員会の設置、議員研修、議会用語	.....	(14)



▲元気のもと基金事業を活用した佐渡裕氏による吹奏楽クリニック in 淡路 2011（7月7日、洲本市文化体育館）

# 平成22年度 洲本市成人歳出決算を認定 8名の議員が、市政全般にわたり質問しました

## 9月定例市議会の主な内容

### ●財政調整基金など基金積立に13億2,314万2千円を追加補正

- 元気のもと基金事業に673万9千円、中川原スマートインターチェンジ整備事業に750万円、洲本城本丸トイレ整備事業に2,333万5千円、緊急ため池整備事業に6,630万円などを追加。
- 災害復旧事業に追加の補正予算を含め、5億5,055万5千円を追加。

### ●下水道事業特別会計に1億6,586万円を追加

- 洲本環境センター水処理施設建設委託料等に1億4,000万円を追加。

### ●法改正に伴い、関連条例6件を改正

# 9月定例市議会議決結果

## 【賛成多数により承認】

報告第7号…専決処分の承認について

洲本市税条例等の一部を改正する条例制定について

(内容は9ページ。総務常任委員会報告を参照)

## 【全会一致可決】

議案第51号…平成23年度洲本市一般会計補正予算（第3号）

歳入歳出それぞれに25億2,840万円を追加

議案第52号…平成23年度洲本市下水道事業特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれに1億6,586万円を追加

議案第53号…平成23年度洲本市介護保険特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出それぞれに257万3千円を追加

議案第54号…洲本市C A T V施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について

有線テレビジョン放送法が放送法に統合されたことに伴う一部改正

議案第55号…洲本市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について

育児休業法の一部改正に伴う一部改正

議案第56号…洲本市企業立地の促進等に係る固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例制定について

企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律の一部改正に伴う改正

議案第57号…洲本市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定について

災害弔慰金の支給等に関する法律の一部改正に伴う一部改正

議案第58号…スポーツ基本法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について

スポーツ振興法が50年ぶりに全面改正され、スポーツ基本法として施行されたことに伴う一部改正

議案第59号…洲本市の区域内における字の区域の変更について

地籍調査に伴う千草地域の字の区域の変更

議案第60号…洲本市辺地総合整備計画について

上灘地区の中津川集会所及び相川集会所の改修を行うため辺地総合整備計画書を定める

議案第61号…平成23年度洲本市一般会計補正予算（第4号）

歳入歳出それぞれに3億円を追加

議案第62号…障害者自立支援法の改正に伴う洲本市条例の整理に関する条例制定について

障害者自立支援法が改正されたことによる関係する3条例の一部改正

議案第63号…反訴の提起について

議員提出議案第5号…災害復興調査特別委員会の設置について



▲相川集会所

## 【賛成多数により認定】

認定第1号…平成22年度洲本市歳入歳出決算認定について



▲建て替え予定の現庁舎



岡本治樹（市民みどりの会）

**Q 新庁舎建設等委員会の議論のスタートを白紙から進めていただきたい**

**A 建設予定地は現在地で計画を進める**

**A** 「つながり」への提言

施政方針

「つながり」への提言

施政方針のキー

Q 「つながり」へは、  
ど「つながり」とは、  
お互いに認め合い対話を  
することであり、行政に民  
意が反映されることだと  
理解するが。「つながり」  
を具現化するために、市民  
協働の先進地の市民参加  
システムを研究してはどう  
うか。

▲建て替え予定の現庁舎

**A** 市長として時間の  
許す限り、各種団体等  
の会合や活動に参加する  
などして、様々な意見に真  
摯に耳を傾け市政に反映  
したい。

二、基本構想（案）の段  
階で公表していただき、  
説明会を開催して広く  
周知した上で、意見を  
募集して、市民の皆様  
の意見を把握し、基本  
構想（案）に反映して  
いただきたい。

三、実際に利用する職員  
の方々からもアンケー  
ト等を実施して利便性

**A** 新庁舎建設基本計  
画の策定に「つなが  
り」を強く反映するため  
に三つの提案をする。

一、このたび設置される  
新庁舎建設等市民検討  
委員会の議論のスター  
トをより白紙に近い状  
態から始めていただき  
たい。

二、基本構想（案）の段  
階で公表していただき、  
説明会を開催して広く  
周知した上で、意見を  
募集して、市民の皆様  
の意見を把握し、基本  
構想（案）に反映して  
いただきたい。

三、実際に利用する職員  
の方々からもアンケー  
ト等を実施して利便性

**A** 一つについては3月  
に施政方針で示した  
通り建設予定地は、現在  
地で計画を進める。二に  
つでは、パブリックコ  
メントなどを行い、民意  
の反映に努める。三に関  
しては、すでに職員の意  
見を取り入れるシステム  
を構築中である。

\*竹内市政22年度の施政  
方針の一つに、市民の  
皆様と情報共有に努め、  
市民参加と協働のまち  
づくりの実現を目指す  
とありました。新庁舎  
建設検討に「つながり」が  
反映されることを希望  
して質問を行いました。

**A** 日ごろから連携を  
とつていただきたい。現  
状でも年に1~2回炊き  
出し訓練をしているが、  
ライフルラインが途切れた  
場合を想定した訓練の必  
要を感じている。

と効率性に対しても現場  
の声も取り入れていた  
だときたい。

以上の三つのプロセス  
を基本構想策定にあたり  
実施されることを提案い  
たします。

**A** 一つについては3月  
に施政方針で示した  
通り建設予定地は、現在  
地で計画を進める。二に  
つでは、パブリックコ  
メントなどを行い、民意  
の反映に努める。三に関  
しては、すでに職員の意  
見を取り入れるシステム  
を構築中である。

\*竹内市政22年度の施政  
方針の一つに、市民の  
皆様と情報共有に努め、  
市民参加と協働のまち  
づくりの実現を目指す  
とありました。新庁舎  
建設検討に「つながり」が  
反映されることを希望  
して質問を行いました。

するよう心掛けている。

と効率性に対しても現場  
の声も取り入れていた  
だときたい。

洲本給食センター  
の計画の概要につい  
て伺う。

要を感じている。

五色給食センター  
と同じポリエチレン  
ナフタレート（PEN）

特定健診の受診状  
況とその推移は。

A

平成20年度31.1%、  
21年度28.3%、22年  
度24.8%である。

A

洲本地域の8小学  
校、4中学校約3,1  
00食。自動炊飯システム  
を導入する考え。食器は  
PEN食器を考えている。

A

強化磁器は重くて  
破損することなどか  
らPEN食器で臨みたい  
と考えている。

A

生産技術の向上、切  
れ目ない供給体制を確立  
するために、今から準備  
を進める必要があると考  
えるがいかがか。

A

連携を取れた体制  
は進めていかなければ  
ばならないが、今の形で  
進めたい。

A

洲本市地産地消学  
校給食推進協議会を  
さらに発展させ、拡大的  
に取り組んでいくための  
検討協議を進めていきた  
い。

するよう心掛けている。

と効率性に対しても現場  
の声も取り入れていた  
だときたい。

以上の三つのプロセス  
を基本構想策定にあたり  
実施されることを提案い  
たします。

**A** 一つについては3月  
に施政方針で示した  
通り建設予定地は、現在  
地で計画を進める。二に  
つでは、パブリックコ  
メントなどを行い、民意  
の反映に努める。三に関  
しては、すでに職員の意  
見を取り入れるシステム  
を構築中である。

\*竹内市政22年度の施政  
方針の一つに、市民の  
皆様と情報共有に努め、  
市民参加と協働のまち  
づくりの実現を目指す  
とありました。新庁舎  
建設検討に「つながり」が  
反映されることを希望  
して質問を行いました。

**A** 施政方針

「つながり」への提言

施政方針のキー

Q 「つながり」へは、  
ど「つながり」とは、  
お互いに認め合い対話を  
することであり、行政に民  
意が反映されることだと  
理解するが。「つながり」  
を具現化するために、市民  
協働の先進地の市民参加  
システムを研究してはどう  
うか。

▲建て替え予定の現庁舎

**A** 新庁舎建設等委員会の議論のスタートを白紙から進めていただきたい

**A** 建設予定地は現在地で計画を進める



小松茂（畠）

**Q 洲本給食センターの運営は？**

**A 調理配送業務を委託しようと考えている**

学校給食について

健康づくり施策について

Q 洲本給食センター  
の計画の概要につい  
て伺う。

洲本給食センター  
と同じポリエチレン  
ナフタレート（PEN）

特定健診の受診状  
況とその推移は。

A

平成20年度31.1%、  
21年度28.3%、22年  
度24.8%である。

A

洲本地域の8小学  
校、4中学校約3,1  
00食。自動炊飯システム  
を導入する考え。食器は  
PEN食器を考えている。

A

強化磁器は重くて  
破損することなどか  
らPEN食器で臨みたい  
と考えている。

A

生産技術の向上、切  
れ目ない供給体制を確立  
するために、今から準備  
を進める必要があると考  
えるがいかがか。

A

連携を取れた体制  
は進めていかなければ  
ばならないが、今の形で  
進めたい。

A

洲本市地産地消学  
校給食推進協議会を  
さらに発展させ、拡大的  
に取り組んでいくための  
検討協議を進めていきた  
い。

A

連携を取れた体制  
は進めていかなければ  
ばならないが、今の形で  
進めたい。

A

洲本市地産地消学  
校給食推進協議会を  
さらに発展させ、拡大的  
に取り組んでいくための  
検討協議を進めていきた  
い。

A

連携を取れた体制  
は進めていかなければ  
ばならないが、今の形で  
進めたい。

A

洲本市地産地消学  
校給食推進協議会を  
さらに発展させ、拡大的  
に取り組んでいくための  
検討協議を進めていきた  
い。

A

連携を取れた体制  
は進めていかなければ  
ばならないが、今の形で  
進めたい。

A

洲本市地産地消学  
校給食推進協議会を  
さらに発展させ、拡大的  
に取り組んでいくための  
検討協議を進めていきた  
い。

A

連携を取れた体制  
は進めていかなければ  
ばならないが、今の形で  
進めたい。

A

洲本市地産地消学  
校給食推進協議会を  
さらに発展させ、拡大的  
に取り組んでいくための  
検討協議を進めていきた  
い。

A

連携を取れた体制  
は進めていかなければ  
ばならないが、今の形で  
進めたい。

A

洲本市地産地消学  
校給食推進協議会を  
さらに発展させ、拡大的  
に取り組んでいくための  
検討協議を進めていきた  
い。

A

連携を取れた体制  
は進めていかなければ  
ばならないが、今の形で  
進めたい。

A

洲本市地産地消学  
校給食推進協議会を  
さらに発展させ、拡大的  
に取り組んでいくための  
検討協議を進めていきた  
い。

A

連携を取れた体制  
は進めていかなければ  
ばならないが、今の形で  
進めたい。

A

洲本市地産地消学  
校給食推進協議会を  
さらに発展させ、拡大的  
に取り組んでいくための  
検討協議を進めていきた  
い。

A

連携を取れた体制  
は進めていかなければ  
ばならないが、今の形で  
進めたい。

A

洲本市地産地消学  
校給食推進協議会を  
さらに発展させ、拡大的  
に取り組んでいくための  
検討協議を進めていきた  
い。

A

連携を取れた体制  
は進めていかなければ  
ばならないが、今の形で  
進めたい。

A

洲本市地産地消学  
校給食推進協議会を  
さらに発展させ、拡大的  
に取り組んでいくための  
検討協議を進めていきた  
い。

A

連携を取れた体制  
は進めていかなければ  
ばならないが、今の形で  
進めたい。

A

洲本市地産地消学  
校給食推進協議会を  
さらに発展させ、拡大的  
に取り組んでいくための  
検討協議を進めていきた  
い。

A

連携を取れた体制  
は進めていかなければ  
ばならないが、今の形で  
進めたい。

A

洲本市地産地消学  
校給食推進協議会を  
さらに発展させ、拡大的  
に取り組んでいくための  
検討協議を進めていきた  
い。

A

連携を取れた体制  
は進めていかなければ  
ばならないが、今の形で  
進めたい。

A

洲本市地産地消学  
校給食推進協議会を  
さらに発展させ、拡大的  
に取り組んでいくための  
検討協議を進めていきた  
い。

A

連携を取れた体制  
は進めていかなければ  
ばならないが、今の形で  
進めたい。

A

洲本市地産地消学  
校給食推進協議会を  
さらに発展させ、拡大的  
に取り組んでいくための  
検討協議を進めていきた  
い。

A

連携を取れた体制  
は進めていかなければ  
ばならないが、今の形で  
進めたい。

A

洲本市地産地消学  
校給食推進協議会を  
さらに発展させ、拡大的  
に取り組んでいくための  
検討協議を進めていきた  
い。

A

連携を取れた体制  
は進めていかなければ  
ばならないが、今の形で  
進めたい。

A

洲本市地産地消学  
校給食推進協議会を  
さらに発展させ、拡大的  
に取り組んでいくための  
検討協議を進めていきた  
い。

A

連携を取れた体制  
は進めていかなければ  
ばならないが、今の形で  
進めたい。

A

洲本市地産地消学  
校給食推進協議会を  
さらに発展させ、拡大的  
に取り組んでいくための  
検討協議を進めていきた  
い。

A

連携を取れた体制  
は進めていかなければ  
ばならないが、今の形で  
進めたい。

A

洲本市地産地消学  
校給食推進協議会を  
さらに発展させ、拡大的  
に取り組んでいくための  
検討協議を進めていきた  
い。

A

連携を取れた体制  
は進めていかなければ  
ばならないが、今の形で  
進めたい。

A

洲本市地産地消学  
校給食推進協議会を  
さらに発展させ、拡大的  
に取り組んでいくための  
検討協議を進めていきた  
い。

A

連携を取れた体制  
は進めていかなければ  
ばならないが、今の形で  
進めたい。

A

洲本市地産地消学  
校給食推進協議会を  
さらに発展させ、拡大的  
に取り組んでいくための  
検討協議を進めていきた  
い。

A

連携を取れた体制  
は進めていかなければ  
ばならないが、今の形で  
進めたい。

A

洲本市地産地消学  
校給食推進協議会を  
さらに発展させ、拡大的  
に取り組んでいくための  
検討協議を進めていきた  
い。

A

連携を取れた体制  
は進めていかなければ  
ばならないが、今の形で  
進めたい。

A

洲本市地産地消学  
校給食推進協議会を  
さらに発展させ、拡大的  
に取り組んでいくための  
検討協議を進めていきた  
い。

A

連携を取れた体制  
は進めていかなければ  
ばならないが、今の形で  
進めたい。

A

洲本市地産地消学  
校給食推進協議会を  
さらに発展させ、拡大的  
に取り組んでいくための  
検討協議を進めていきた  
い。

A

連携を取れた体制  
は進めていかなければ  
ばならないが、今の形で  
進めたい。

A

洲本市地産地消学  
校給食推進協議会を  
さらに発展させ、拡大的  
に取り組んでいくための  
検討協議を進めていきた  
い。

A

連携を取れた体制  
は進めていかなければ  
ばならないが、今の形で  
進めたい。

A

洲本市地産地消学  
校給食推進協議会を  
さらに発展させ、拡大的  
に取り組んでいくための  
検討協議を進めていきた  
い。

A

連携を取れた体制  
は進めていかなければ  
ばならないが、今の形で  
進めたい。

A

洲本市地産地消学  
校給食推進協議会を  
さらに発展させ、拡大的  
に取り組んでいくための  
検討協議を進めていきた  
い。

A

連携を取れた体制  
は進めていかなければ  
ばならないが、今の形で  
進めたい。

A

洲本市地産地消学  
校給食推進協議会を  
さらに発展させ、拡大的  
に取り組んでいくための  
検討協議を進めていきた  
い。

A

連携を取れた体制  
は進めていかなければ  
ばならないが、今の形で  
進めたい。

A

洲本市地産地消学  
校給食推進協議会を  
さらに発展させ、拡大的  
に取り組んでいくための  
検討協議を進めていきた  
い。

A

連携を取れた体制  
は進めていかなければ  
ばならないが、今の形で  
進めたい。

A

洲本市地産地消学  
校給食推進協議会を  
さらに発展させ、拡大的  
に取り組んでいくための  
検討協議を進めていきた  
い。

A

連携を取れた体制  
は進めていかなければ  
ばならないが、今の形で  
進めたい。

A

洲本市地産地消学  
校給食推進協議会を  
さらに発展させ、拡大的  
に取り組んでいくための  
検討協議を進めていきた  
い。

A

連携を取れた体制  
は進めていかなければ  
ばならないが、今の形で  
進めたい。

A

洲本市地産地消学  
校給食推進協議会を  
さらに発展させ、拡大的  
に取り組んでいくための  
検討協議を進めていきた  
い。

A

連携を取れた体制  
は進めていかなければ  
ばならないが、今の形で  
進めたい。

A

洲本市地産地消学  
校給食推進協議会を  
さらに発展させ、拡大的  
に取り組んでいくための  
検討協議を進めていきた  
い。

A

連携を取れた体制  
は進めていかなければ  
ばならないが、今の形で  
進めたい。

A

洲本市地産地消学  
校給食推進協議会を  
さらに発展させ、拡大的  
に取り組んでいくための  
検討協議を進めていきた  
い。

# 一般質問

# そこが聞きたい



▲改築が待たれる由良小学校



**Q** 由良小学校改築問題について  
**A** 現在地に建て替え、調査業務委託料計上

片岡 格（日本共産党）

冒頭、台風12号で被害に遭われた方々へのお悔やみ、お見舞いを申しあげ、そして「由良小学校現地に建設」との新聞報道に、「改築を考える会」皆さんをはじめ、圧倒的多数の方が喜んでいる」と、決断に感謝を述べた。

**Q** 増設校舎、給食の調理室、ランチルームなどの建設については。  
**A** 給食については、センター方式で行く計画。仮設校舎やその他については、これから協議する。

**Q** 補正予算に「調査業務委託料500万円が計上されている」事業の中身について。

**A** 敷地の地質調査や、校舎の規模、配置などを検討する。

**Q** 完成時期について。  
**A** 今年度中に実施設度早期の完成を目指す。

**Q** 東海・東南海・南海地震が連動し発生すると、想定される津波の高さは2倍（知事発言）になる。高台に避難する通路の整備が必要と考えるが。

**A** 地元からの意見具申書を踏まえ、現在地での改築を決定した。

今回、補正予算に500万円を計上、調査業務の結果を基に実施設計にとりかかり、来年度内に工事着手し、平成26年度のできるだけ早い時期での完成を考えている。

**A** 海鼠の資源増殖事業については、他の漁業組合においても新たに事業に取り組むようであれば、支援していきた

**Q** 海鼠について、市では、市としてはどのように考えているか。  
**A** 干し海鼠加工場の設置について、漁業組合が積極的に取り組みたいということであれば、市も支援を検討していく

**Q** 由良小学校の改築の際、防災機能を備えたい。

**A** 県とも相談の上、検討したい。

**A** 上灘地区には、衛星携帯電話を配備している。避難所に非常食・燃料等の備蓄については、今後検討する。

**Q** となる上灘・由良地区の避難所等の現状と対策について。  
**A** が一番である。地元との協議、協力が必要。

て、先の議会での「認識は持っていない」との答弁は納得いかない。再度要望する。

**Q** 洋洲本灘賀集線の代替道路の建設について、新たな振興策といふものはないが、五

**A** 新たな振興策といふものは無いが、五

うものは無いが、五



**Q** 海鼠の振興策についての考えは  
**A** 漁協として取り組むなら検討する

桐山繁（刷新）



▲海鼠





## 行政改革について

**Q** 平成22年度における成果と総括は。

**A** 実質収支、実質単年度収支、ともに黒字決算となつた。また実質公債費比率が改善され、地方債を発行する際、県知事の許可が必要な「許可団体」から脱却するとともに、将来負担比率も改善し、後世の負担を少しでも軽くできたのではないかと考えている。

**Q** 収納の現状について。

**A** 収納状況は徐々に改善されつつあり、滞納対策室の設置効果も現れています。平成22年度では現年課税分、滞納繰越分とも収納率は改善した。

**Q** 今後の改革推進に当たって何が大事か。

**A** 職員一人ひとりの意識改革であり、与えられた立場で課題を見つけて解消への努力を日々行うこと、この地道な取り組みが最も重要であると考えている。



## 県病建設について

**Q** 県病は、本市と島民の生命を守る砦である。

**A** 建設場所が低い地帯であり、津波や浸水など災害に対して不安であるが、市当局は「県の判断ですること」との認識でよいのか。

**Q** 市の防災マップでは、M8・4で津波想定2・1メートルである。井戸知事は、東日本大震災を受けて津波想定値を二倍にと示唆していることから、本市では4・2メートルになる。市長が震災後に発表した「現地の建て替え」は、震災からの教訓をふまえての

**A** 意見が寄せられている。「現地での建て替えに賛成」「別の場所で建て替えを」「充分議論をして決めよ」「建て替えは必要ない」などである。

**Q** 市民から基本計画策定委員の公募をされたが、応募数は、また選出基準は。検討委員会は公開で行うのか、非公開なのか。

**A** 県の想定値からすると、1・7メートル程度かさ上げすれば津波はかかるといふことになる。それよりも津波の恐れがある場合は、まず高いところに逃げるのが大切と考える。

**Q** 意見が寄せられた。

**A** 発言なのか、また知事発言との整合性は。先の台風では、体育館の北側堤防が決壊の危機にさらされた。市街地が水浸したことでも心配されるが、府舎が防災拠点としての機能が果たせるのか。

**Q** 教育施設の活用と整備について。

**A** 司書教諭の配置は、小学校で4校、中学校で2校。学校司書の配置はない。

**Q** 活用について。

**A** 小学校では一人平均24冊、中学校では約1冊の貸し出しである。児童・生徒の主体的、

**Q** 資格所有者は、小学校合わせて37名。司書教諭の全校での発令を考え、学校司書の配置は今後慎重に検討してまいりたい。

**Q** 庁舎建て替えについて。

**A** 庁舎建て替えについて市民から様々な

**Q** 5ヵ年計画「集中改革プラン」の総括 A 健全化を目指す初期目的は達成

**Q** 新庁舎 防災拠点としての機能果たせるかさ上げになる

**A** 県の想定値からすると、1・7メートル程度かさ上げすれば津波はかかるといふことになる。それよりも津波の恐れがある場合は、まず高いところに逃げるのが大切と考える。

## 滞納解消など4点を指摘

### || 決算特別委員会 ||

9月12日の本会議において、正副議長と平成22年度と23年



▲市民工房が入るアルチザンスクエア

度の議会選出監査委員を除く14名で構成する決算特別委員会が設置され、認定第1号平成22年度洲本市歳入歳出決算認定について付託されました。

9月20日午前10時より委員会が開催され、委員長に山本委員、副委員長に戸田委員を選出しましたが、台風15号接近に伴う大雨洪水警報が発令された中、理事者は災害対策本部運営のため閉会としました。

9月26日午前10時から委員会が再開され、理事兼財務部長より決算概要の説明を受けた後、財政課長より決算説明を、管財課長より財産区の状況説明、税務課長より市税の内訳説明を、滯納対策室長より納税状況の説明を受け、それぞれ質疑を行いました。

その後、五色総合事務所窓口サービス課、会計課、選挙管理委員会事務局、企画情報部秘書課、企画課、情報課、

商工観光課、総務部総務課、消防課、災課、健康福祉部福祉総務課、福祉課、介護福祉課、

保険課の順に説明を受け、それぞれ質疑を行いました。

27日午前10時10分より3日目を開催、健康福祉部健康増進課、サービス事業所、市民生活部人権推進課、環境整備課、教育委員会庶務課、学校教育課、社会教育課、体育保健課の説明を受け、それぞれ質疑を行いました。

その後、都市整備部用地課、建設課、都市計画課、下水道課の順に説明を受け、それぞれ質疑を行いました。

28日午前10時より4日目を開催、農林水産部農政課、農地整備課、林務水産課の順で説明を受け、質疑を行いました。

### 審査の結果

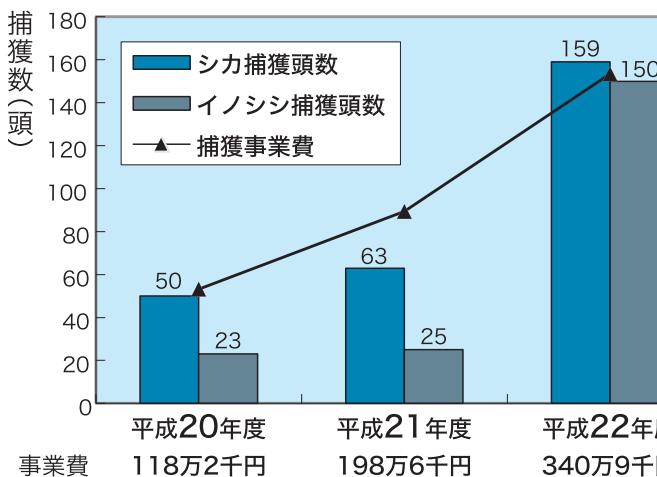
● 市税については、収納率の向上が図られているが、市當住宅使用料や保育所保育料などについては、成果が表れているとは言えない。滯納の解消に向け、なお一層努力すること。



▲運営の改善が求められる国保直営診療所

# 委員会報告

## 有害鳥獣捕獲事業費と捕獲頭数



国保診療所の運営について  
は、民間医療機関の開設など、環境と住民の医療ニーズの変化を的確に捉え、本市の健康施策の中で果たすべき役割を明確にした上で、赤字体質からの脱却を早急に進めること。

市民工房については、極めて非効率な運営がなされており、また同種の事業が各

所で展開されていることから、存廃を含めた抜本的な見直しを行うこと。  
鳥獣被害防止策は、一定の成果が見られるが、営農意欲の低下を招くことのない定第1号を賛成多数により認定すべきものと決しました。



▲新築された三熊山トイレ

主な改正内容としては、市外のNPO法人への寄付金で個別に定めることにより、寄付金税額控除の適用対象とされれた。

主な改正内容としては、市外のNPO法人への寄付金であっても、条例で個別に定めることにより、寄付金税額控除の適用下限額が5千円から2千円に引き下がられた。

また、肉用牛の売却による農業所得の課税特例においては免税対象飼育牛の売却頭数が2千頭から千5百頭以内に改正された。

## 総務常任委員会

主な改正内容としては、市外のNPO法人への寄付金であっても、条例で個別に定めることにより、寄付金税額控除の適用下限額が5千円から2千円に引き下がられた。

また、決算剰余金を活用した財政調整基金の積み立て及び義務的経費等の精査として○財政調整基金積立金（前年度繰越金の1/2を積み立て）

### 専決処分の承認について

国的地方税法等の一部を改正する法律案の成立に併せて、洲本市税条例等の一部を改正

する条例が6月30日に専決処分されたことに対し、承認を求める報告第7号の付託を受け審査いたしました。

主な改正内容としては、市

民税関係において認定NPO以外のNPO法人への寄付金であっても、条例で個別に定めることにより、寄付金税額控除の適用対象とされれた。

主なものは、さらなる事業展開の取り組みとして、○元気のもと基金事業に673万9千円

○自治コミュニティ助成事業（だんじり修繕事業）250万円

○中川原スマートIC整備事業（概略設計業務委託等）750万円

○観光施設整備事業（洲本城本丸トイレ整備事業）2,333万5千円

○府内LANシステム改修に伴う機器の購入）7,000万円

### 平成23年度洲本市一般会計補正予算（第3号）

國の法改正の内容にあわせて罰則過料額が現行3万円から10万円に見直しされた。以上の説明を聞いた後に慎重審査の結果、全会一致で承認すべきものと決しました。

# 委員会報告

○水道高料金対策補助金（淡路広域水道企業団へ交付）  
6、178万円  
等の内容説明に委員から中川原スマートIC整備事業の計画内容とLANシステム改修の内訳等に対する質疑がありました。

洲本市CATV施設の整備及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について

洲本市CATV施設の整備及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について

放送法の改正により、放送に関する法令の統廃合が行われたことに伴い、洲本市条例で引用されている「有線テレビジョン放送法」を「放送法」に改めるものである。

洲本市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正を受け、洲本市の非常勤職員が育児休業等を取得できるよう改正を行うものである。

委員から対象となる非常勤職員数に関する質疑がありました。

洲本市企業立地の促進等に係る固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例制定について  
地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、本市の条例が引用する企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律が一部改正されたことによるもの。

洲本市辺地総合整備計画について

辺地に係る公共施設整備で、上灘地域の中津川及び相川集会所の築年数の経過及び風雨等で老朽化が進む集会所を地域住民のコミュニティ活動、防災拠点施設としての重要な機能維持確保のため、辺地総合計画を策定して事業の実施を行ふもので、委員から辺地認定について進めていく考え方示された。多くの議論や質問、意見、要望もあったが、付託された全案件とも全会一致可決すべきものと決しました。

## 教育民生常任委員会



▲現地建て替えが決まった由良小学校

市民生活向上のため  
一般会計補正予算等  
付託された議案4件を審査

教育民生常任委員会に付託された議案第51号の中で、児童福祉の備品購入についての

説明があった。市内10カ所程度の設置で赤ちゃんのオムツの交換台や授乳用の丸椅子、湯沸し設備等を整えるとのことであったが、利用頻度の高

原材料費の高騰は予想されましたが、他の分野でも問題になつていいのかとの問い合わせに、現段階では予算の範囲で事業実施できる見通しであるとの回答を得た。

由良小学校の調査費

平成24年度に工事に着手したいとの見通しのもと、地盤調査は終わっているが水の問題や配置の関係による調査の中で仮設校舎の問題等も考えている。改築に向けては学校中心に町内会等と十分な議論のもと防災施設としての議論もして欲しいとの要望もあつた。

県教育委員会等とも相談して進めていく考え方示された。多くの議論や質問、意見、要望もあったが、付託された全案件とも全会一致可決すべきものと決しました。

いと思われる施設から整備して欲しいとの要望がなされた。また環境整備では、台風6号による漂着ゴミの処理費用、ストックヤード整備工事の原リフトの購入等の追加補正が出された。

産業建設常任委員会

### 3 議案を審査 産業建設常任委員会は付託された

一般会計補正予算(第二号)

A black and white photograph showing a steep, densely vegetated hillside. The foreground is dominated by tall grasses and low-lying plants. In the middle ground, a large, leafy plant with broad leaves stands out. The background shows more vegetation and the rocky, uneven terrain of the hillside.

### ▲森林再生事業で植えられた苗木

菜の花エコプロジェクト  
規作物生産助成事業  
補助金として100  
万円が計上されてい  
ることについて、昨  
年作付けされた菜の

住宅管理費で、市営住宅空家及び共同施設補修に560万円、土木管理費で緊急雇用対策事業として道路脇の雑木伐採処理にごみ焼却手数料100万円、炬口緑地帯の整備を地域住民に依頼しているこ

### 追加議案を各常任委員会で審査

29日第4日目に議案第61号から63号の3件が追加上程され、3常任委員会に付託されました。審査の結果、3議案それぞれ全会一致により可決すべきものと決しました。

一般会計補正予算(第二二号)  
農林水産部所管分では、緊急ため池整備事業の調査業務委託料2,200万円、整備工事費4,110万円など計6,630万円。平成23年度発生42工区分設計等委託料25

0万円、災害復旧工事費11億8、400万円など計1億8、925万5千円。この復旧費は6、7月発生分で先の台風12号による被害分は現在集計中である。

野菜等の生産に取り組む農家グループがあることから計上したもので、上限25万円、経費の2分の1を助成するものとの説明を受けた。

洲本市の区域内における字の区域の変更について

洲本市の区域内における字の区域の変更について

千草地域で実施されている地籍調査を受けて、字の区域を変更しようとするものです。

\*地籍調査とは、土地分類調査、水調査と並び、国土調査法に基づく「国土調査」の一つであり、主に市町村が主体となって、一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積を測量するものです。明らかになつた所有や利用の実態に即して字の区域が変更されることが多々あります。

水道接続推進事業助成金がさらに60件程度見込めることがから6000万円を追加。塩屋の洲本環境センターを増設するための整備費7,000万円、古茂江地区の污水管の更新工事費に7,000万円、その工事に伴う上水管の移設に伴う移転補償費1,000万円などが主なもので、財源として国庫補助金3,210万5千円、公共下水道整備事業債1億1,480万円など追加するものべきものと決しました。

花30ヘクに対し、収穫されたのは18ヘクにとどまり、現行の汎用コノバイン1台では対応で

とから、散水栓設置工事等に  
58万6千円、7月19日～20日  
の台風6号による道路10件、

## 下水道事業特別会計補正予算（第一号）

## 新庁舎建設調査特別委員会



▲雨水利用等環境に配慮された五色庁舎

本年、3月議会で市長が示した現在地での庁舎建て替えの意向を受けて、6月23日、第二回新庁舎建設調査特別委員会が開催され、担当部署より現庁舎の現況について報告がありました。はじめに現庁舎の築後48年経過による施設の老朽化、耐震性不足、行政サービスの低下等の問題点に

ついて報告がなされ、続いて、基本計画の策定等、今後のスケジュールについての説明が行われ、合併特例債利用期限となる平成27年度中の完成を目指す旨の説明がなされました。その後、委員より東日本大震災の津波被害の教訓とともに、建設場所・設計プラン等を含む新庁舎建設等の方向

転換の可能性についての質疑がなされました。地域住民の避難場所の確保及び中心市街地周辺地域活性化の観点から現地建て替えの方向での検討方針が示されました。

続いて、8月30日、第三回新庁舎建設調査特別委員会が開催され、担当部署より新庁舎建設等に係る組織設置に至る経緯について説明がなされ、市民や学識経験者からなる洲本市新庁舎建設等市民検討委員会や庁内の職員で組織する洲本市新庁舎建設推進会議を設置して新庁舎建設に係る検討組織体制が示されました。

次に、本市と同規模の6カ所の先進地事例調査においての庁舎の特徴（利便性、防災機能、環境配慮がなされた構造等）や課題（収納力不足、設備の維持管理費用の高騰等）についての説明が行われました。その後、委員より課題に対する提案や市民から寄せられたパブリックコメントの取り扱い等に関する質疑が出され、市民の安全性及び利便性を考慮した新庁舎建設に向けた議論がなされました。

- 納鮎屋分団納班消防詰所では、地域

### 庁舎建設に関し二度の委員会を開催

## 所管事務調査

### 総務常任委員会

の防災拠点の施設整備事業の現状について。

7月27日、総務常任委員会が所管する施設等7カ所の調査を実施致しました。

○広石若葉台団地では、分譲状況（94区画中81区画が販売済）や分譲地完売に向けて取り組み等について。

○生石公園（岬展望台・バーベキューサイト等）では、平成20年度から2カ年かけて実施された園地整備状況並びに自然・歴史・文化的に優れた資質を用いた利用促進に向けた取り組みについて。

○大浜公園では、大浜公園再整備基本計画に基づく整備計画の進捗状況について。

○鯖原吉田地区企業団地では、洲本市の抱える企業団地の現状と企業誘致に向けた民間企業との協力体制について。

各担当課より概要の説明があり、質疑が行われました。



▲防災倉庫内部

○防災倉庫では、410人分（平成16年災害の避難者数）の1日分の避難生活に必要な生活物資の備蓄と給排水設備、電気設備、雨水排水の改善による災害拠点機能の強化について。

# 委員会報告



▲ストックヤード建設予定地（下内膳）

7月12日、委員会所管の五色中学校、五色地域福祉センター、国民健康保険五色診療所などの施設整備及び管理運営の状況と、新たに建設予定の「洲本地域」学校給食共同調理場」「ストックヤード」「由良小学校」等の建築予定現場の確認調査を実施しました。

## ◇教育民生常任委員会

○池ノ谷下池（由良町内田）農業土木災害で堤の改修を実施中。

○洲本環境センターや（塩屋）老朽化した汚泥搔き寄せ機の更新が予定されている。

○市道宇原千草線（宇原地区1ヵ所、上物部地区2ヵ所）6月定例議会で新たに市道路線認定した道路。

○市道加茂下道線（下加茂）、市道洲本川堤防線（塩屋）同じく路線変更（延長）認定した道路。



▲池ノ谷下池（由良町内田）

## ◇産業建設常任委員会

8月8日、委員会所管の施設等現地調査を行いました。

○市道宇原千草線（宇原地区1ヵ所、上物部地区2ヵ所）6月定例議会で新たに市道路線認定した道路。

○市道加茂下道線（下加茂）、市道洲本川堤防線（塩屋）同じく路線変更（延長）認定した道路。

○洲本環境センターや（塩屋）老朽化した汚泥搔き寄せ機の更新が予定されている。

○池ノ谷下池（由良町内田）農業土木災害で堤の改修を実施中。

## 9月定例市議会の日程

2日 告示。常任委員長会  
7日 議会運営委員会、議会報編集特別委員会

### 9日 本会議第1日

専決処分の承認についてを委員会付託。審査の後、審査報告、質疑、討論、採決。専決処分の報告について他1件の報告を受け質疑。

10議案を上程、上程理由の説明を受けた後、4議員が質疑並びに一般質問を行う。

途中、議会運営委員会を開催、以後の日程を協議。

### 12日 本会議第2日

4議員が質疑並びに一般質問を行う。議案10件を各常任委員会に付託。

認定第1号を上程、説明を受けた後、決算特別委員会を設置し、付託。委員を選任。

### 13日 産業建設常任委員会

### 14日 教育民生常任委員会

### 15日 総務常任委員会

### 20日 決算特別委員会

台風15号に伴う豪雨のため、災害対策本部が設置されており、審査が困難なため正副委員長を互選し、直ちに閉会。

### 26日 決算特別委員会

27日 常任委員長会、議会運営委員会を開催。

### 本会議第3日

決算審査のため、直ちに延会決議。決算特別委員会を開催。

### 28日 決算特別委員会

終了後、議会運営委員会を開催。

### 29日 本会議第4日

各常任委員長より10議案の審査報告を受け、質疑、討論、採決。

3議案が追加上程され、各常任委員会に付託して審査。委員長の審査報告を受け、質疑、討論、採決。

議員提出議案第5号 災害復興調査特別委員会の設置についてを上程、可決し、委員を選任。

認定第1号を上程、決算特別委員長の審査報告を受け、質疑、討論、採決。議員の派遣についてを採決。

常任委員会及び議会運営委員会所管事務調査についてを採決。

閉会決議。閉会。

途中、災害復興調査特別委員会を開催し、正副委員長を互選。

## 反対

片岡 格議員  
平成22年度洲本

主な理由として、当初予算や補正予算、条例改正等に反対する議論を行う。

認定第1号  
平成22年度決算認定

市歳入歳出決算認定に、日本共産党議員団を代表して反対する議論を行います。

## 9月議会で行われた討論

対した理由をあげ、認めがたい点があるとして反対しました。また、報告第7号専決処理の承認についてに対しても反対討論を行いました。

# 台風12・15号等による災害復興対策

## 災害復興調査特別委員会を設置しました

台風12号、15号により、道路、河川、農業施設、農地、公共施設等に甚大な被害が発生したため、災害復興施策について議会として調査研究を行うため、災害復興調査特別委員会を設置しました。

委員は6名、議会閉会中

も、調査終結を議決するまでの間、調査研究できるところとしています。

委員には、○ 笹田守、○ 小坂雅計、福本巧、岡本治樹、岩橋久義、岡崎稔の各議員が選任されました。

(○委員長、○副委員長)



知つておきたい

## 議会用語

### 補正予算

当初予算とは、その年の年度内に予想される全ての歳入（家庭では収入）、歳出（支出）等を見込んで編成される。その年度の開始前に議会の議決を経て成立するものです。

しかし、年度途中に、さらなる事業展開への取り組みや災害復旧事業、政策の

変更、制度の改正等があるとき、これらの事態に対応するため、既に決まってい る金額や予算科目を変更する必要が生じることがあります。また、事業精査等により当初予算より減額が生じたりする場合もあります。

それらの場合、補正予算を受ける。

6月定例議会後に実施した議員研修内容は次の通りです。



▲泉和幸氏による講演

## 議員研修

◆7月11日

淡路地域正副議長会主催による平成23年度淡路議会議員研修会が、淡路市防災あんしんセンターで開催。

◆7月25日

「淡路公園島戦略について」兵庫県淡路県民局・藤原道生県民局長より、戦略の4つの柱として環境、交流、活力、安心について講演をいただく。

◆8月25日

「南海地震の対応について」4月9日～16日、宮城県南三陸町に本市より派遣された総務部消防防災課・板家隆博課長補佐より、地震、津波の備えについて研修を受ける。

## 編集後記



洲本市議会の本会議は、簡単な手続きでだれでも傍聴することができます。

「東日本大震災後の日本経済」と題し、経済経営評論家・泉和幸氏より、中小企業に影響するプラス要素とマイナス要素について講演を受ける。

議員研修内容は次の通りです。

◆3・11 東日本大震災・福島原発、奈良県・和歌山県における台風12号の記録的豪雨による山崩れ、土砂ダム5カ所と集落の孤立化。続く台風15号による土砂ダム崩壊の危険。津波・河川氾濫により家が流出し尊い命が奪われました。◆原発事故は「異質の危険」「空間的危険」「時間的危険」があり、人間が造りし危険。自然災害は人間の力で防ぎ得ない危険です。◆災害復旧に全国より駆けつけたボランティアの献身的努力が被災者を励まし、勇気と希望を呼び起こし、薄れゆく社会で人と人との絆が強まり、災害が貴重な絆を実証しました。◆台風被害により議会日程が変更となり、本紙の議会閉会後の翌月発行を貫徹する上で、決算特別委員会の記事を当日中に仕上げる至難から、編集委員6人がより絆を強め発行に当たりました。◆常に開かれた議会を市民の皆様にご理解いただき、本紙が市民と議会の絆を一層強めることを希望しています。